

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	伊達市すまいる園		
○保護者評価実施期間	7年 2月 3日		7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	7年 2月 18日		7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・建物が小学校なので、家庭科室、校庭や体育館で活動ができる環境になっている。また、備品で残してもらっていたミシンでの活動もでき、学校で習う前に経験することができる。	・体育館にすぐ行けるように、交流館から体育館のカギを借りている。季節に合わせて、クッキングや制作の活動を行っている。(ハロウィン、クリスマス、バレンタインなど)・ミシンや針を使っての活動を行い、集中して取り組む経験を取り入れている。	・子どもたちと一緒に、畑作りをして野菜の収穫、調理といった、つながる支援をしていきたい。この、整った環境を生かして療育をしていきたい。
2	・教室内を構造化し、子どもたちが安心して過ごせる環境になっている。	・パネルやPPプレートで部屋を仕切り、誰でも見やすく分かるエリア作りをしている。汚れたり、構造化の仕方が子どもたちに会っていないと感じた時は、再構造化している。	・引き続き、その時、その場の子どもたちに合わせた玩具や本の入れ替えを行ったり、構造化をしていきたい。
3	・視覚的支援を多く取り入れている。一人一人のスケジュールを下校時間からお迎えの時間まで組んでいる。	・一人一人のスケジュールがあることで、見通しをもって、すまいる園で過ごすことができている。また、本人の思いを伝えやすく交渉できるように、イラストや文字を書いたカード(ヘルプカード)も提示している。	・子どもたちが楽しんで過ごせるように、興味関心のあることにアンテナを張り、情報を得ていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物が古い学校なので、トイレや水道の排水管の臭いがきつい、洋式便器で不便、廊下の電気が暗い、スロープがなく、バリアフリーとは言えない。	・工事がひつようだが、大掛かりになるため難しい。	・少しずつ改善できるように、予算を使って子どもたちや、お迎えに来る保護者が安心できる環境に整えていく。
2	・場所が山の中で遠い。ということで、保護者の送迎が難しく欠席する子どもが多くなっている。(特に冬場で雪の日)また、送迎サービスが整っていないため、利用が困難となる場合もある。	・送迎可能な学校を増やして、保護者の負担を軽減したい。	・職員と送迎者の増員、確保が必要。
3			